

b 開催された研究集会

(1) 特殊学級教育研究会

時 33・7・12(土)～13(日)

所 相馬市立中村第一小学校

主催 県教委事務局

主題①特殊学級における教育課程について

②特殊教育における指導記録について

③学級経営上当面する問題について

(2) 特殊教育研究集会

時 34・1・23(金)～24(土)

所 平市 福島整肢療護園

主催 福島県特殊教育研究会

共催 県教育事務局

主題 (1)とおなじ

(3) 所見

前記(1)(2)の研究会は、精薄・肢体不自由・身体虚弱を通じての集会として計画され、学級担任はもちろん学校長の参加も多く、形式・内容ともに従来にみられない充実ぶりを示した。

教育課程については、いちおうの結論をえたので、次回は学習指導法についての研究を深めようとの段階にまで発展した。

B 盲ろう学校の教育

福島盲聾学校の盲学科校舎・平盲聾学校校舎の改築が落成し、33年4年から使われている。これを機として、県内盲聾学校の教育がいっそう向上するよう期待したい。

本年度行われた研究集会等のおもなものは、次のとおりである。

a 東北北海道地区盲学校理療科教育研究会

時 33・10・3(金)～4(土)

所 福島盲聾学校

b 東北地区聾学校言語指導ならびに職業教育研究会

時 33・10・6

所 福島盲聾学校

なお本年度は、盲聾教育80周年にあたり、記念式典が文部省の主催によって行われた。その際、表彰をうけた本県関係者は次のとおりである。

太田辰雄(郡山・病院長) 大塚喜一郎(平・マッサージ業) 小松良基(会津・社長) 富岡武雄(平・商業) 長沢恒亮(福島・教員) 野崎満蔵(平・交通業) 横山貞吉(会津・元教員) 米山高実(会津・医院長) 西坂藤三郎(福島・元教員)

本県を会場として、「昭和33年度(東日本)幼稚園教育指導者講座」が実施された。次にその概要を述べる。

A 目的

幼稚園教育において解決を要する当面の諸問題をとりにあげて研究協議し、指導者としての基礎的教養および指導能力を高め、幼稚園教育の改善充実をはかる。

B 主催

文部省、福島県、福島県教育委員会、福島大学、福島市、福島市教育委員会

C 期日

昭和33年8月17日(日)から20日(水)まで(4日間)

D 会場

福島市立福島第一幼稚園

E 参加都道府県(かっこ内は参加人員)

北海道(7)、青森(5)、岩手(6)、宮城(12)、秋田(5)、山形(5)、福島(57)、茨城(14)、栃木(15)、群馬(15)、埼玉(10)、千葉(8)、東京(37)、神奈川(12)、新潟(6)、山梨(5)、長野(5)、静岡(11)

※18都道府県 235人

F 参加者

(1) 指導的立場における幼稚園の園長・教育等のうち、都道県教育委員会または都道府県知事の推薦する者。

(2) 教育養成大学長の推薦する附属幼稚園長・教員等。

(3) 都道県、市区町村教育委員会の指導主事のうち、都道県教育委員会の推薦する者。

G 日程

第1日	8.30～9.00 受付	9.00～9.30 開会
	6.30～10.00	日程説明話合せ
	10.00～11.30	講演
	11.30～12.00	班別研究
	12.00～13.00	昼食
	13.00～16.00	班別研究
第2, 3日	8.30～16.00	班別研究
第4日	8.30～14.30	班別研究
	14.30～15.30	講演
	15.30～16.00	閉会

H 講演

(第1日)「幼児の表現活動について」

福島大学教授 田口 孝之

(第4日)「幼稚園における指導計画のたてかたに

11. 幼稚園教育の実施状況